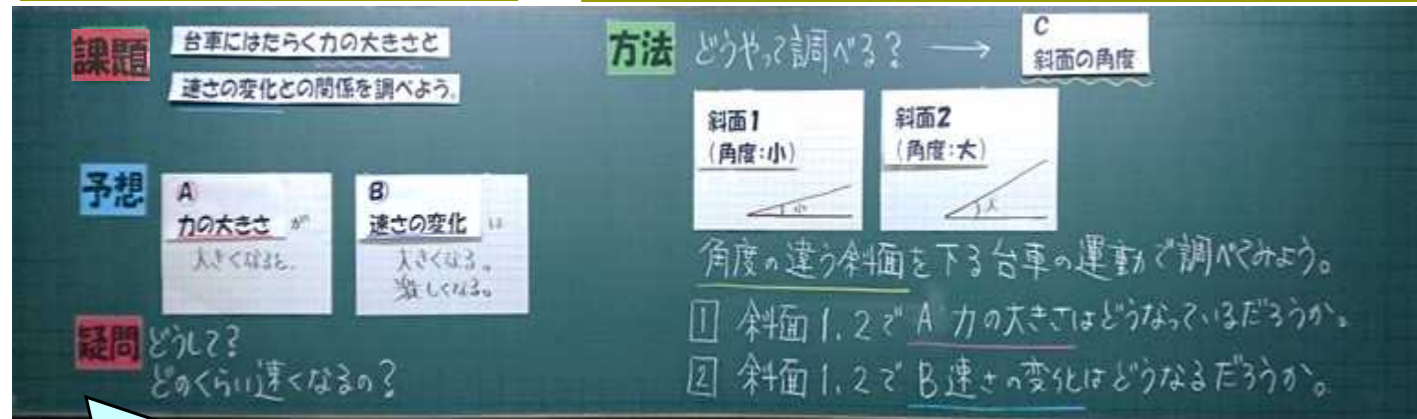


理科 「科学的な見方や考え方を養う理科の授業」

事例教材 中・3年生
「運動とエネルギー」
ア 運動の規則性

◇板書に一時間の思考の流れをまとめよう◇
板書の工夫

学習内容を視覚的に示し、授業の流れを最後に確認できるようにする。キーワードに色をつけて関連やつながりをわかりやすくする。

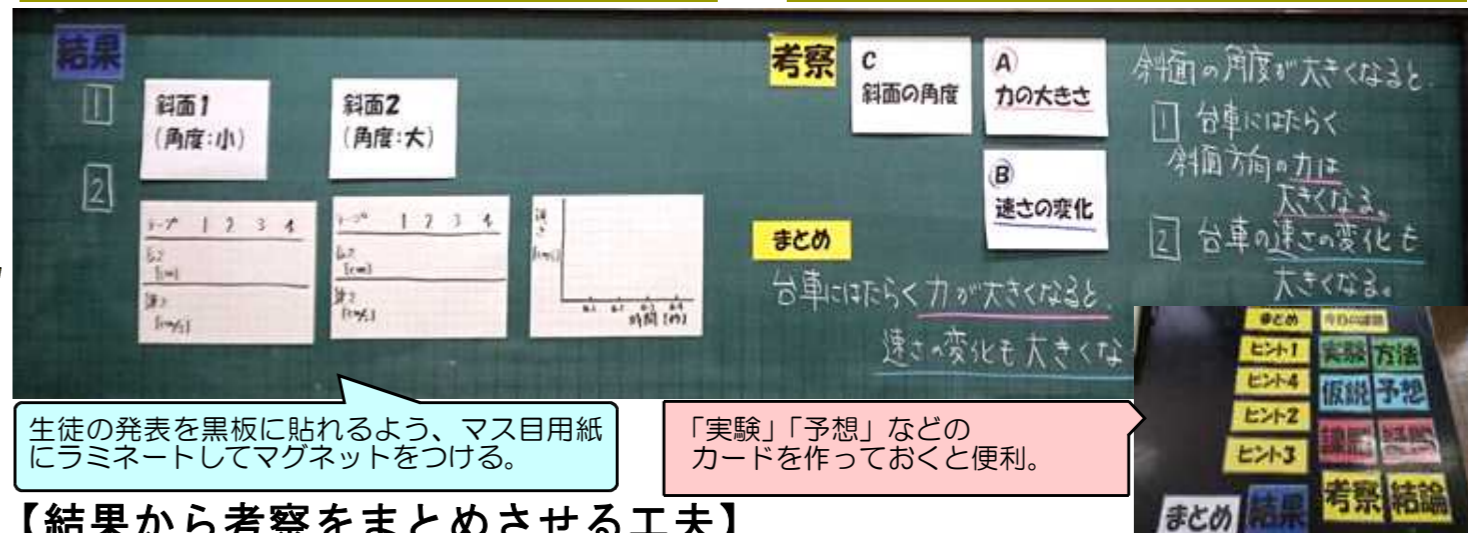


授業中にたつ疑問が内容を深めたり、次の授業の課題につながったりする。

見通しをもたせる (予想・方法)
予想の根拠や理由をもたせる。どのように調べるか方法を考え、理解する。

実験をする (しらべる)
実験結果をわかりやすくまとめる。文章やグラフ・表に表す。

結果から考察する
結果で得られたデータを比べたりまとめたりして関係を読み取る。



生徒の発表を黒板に貼れるよう、マス目用紙にフミネートしてマグネットをつける。

【結果から考察をまとめさせる工夫】

- ①授業（実験・観察）のねらいを明確にする。（黒板の初めに明記する）
- ②結果を予想させる。（理由や根拠を明らかにした予想を立てる）
- ③実験の方法について考えさせる。（どのように調べるか考える）
- ④結果のどこに着目するかを教える。（共通点を見つける・違いを見つける・比較する）
- ⑤考察文の書き方を練習する。（考察文の書き方を繰り返し指導する）
- ⑥思考の流れを振り返ることができる板書計画を練る。（視覚的に理解を助ける板書が望ましい）

「実験」「予想」などのカードを作っておくと便利。

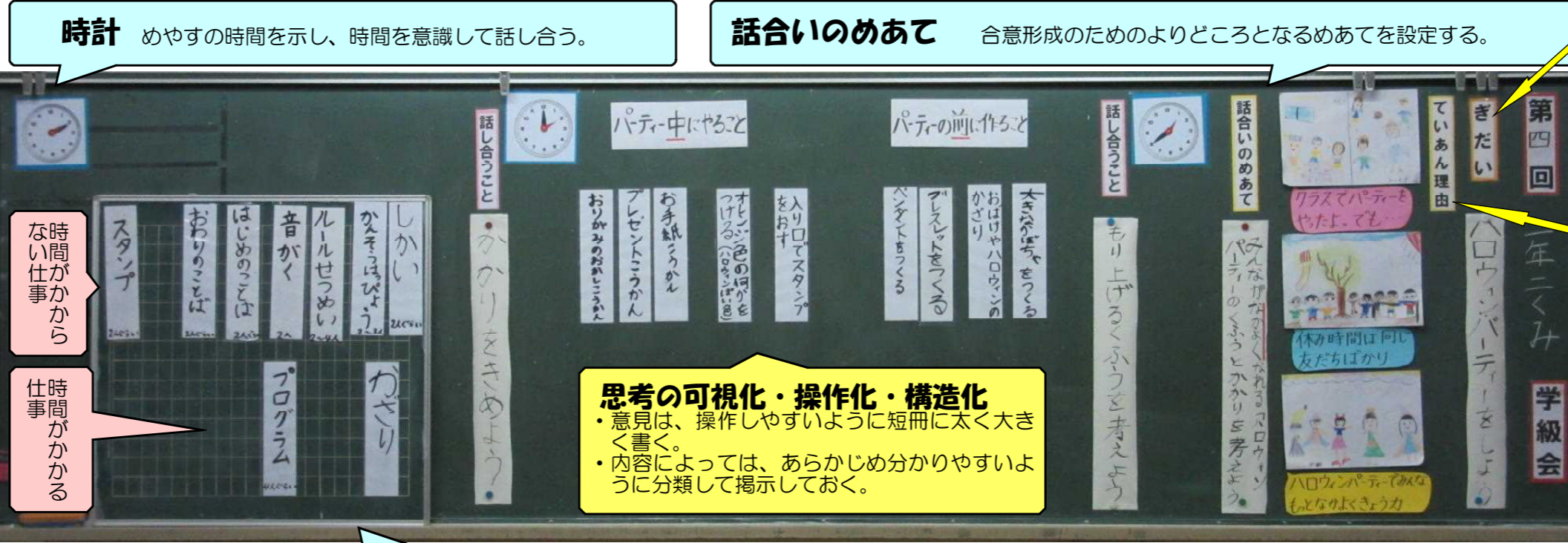
特別活動

学級活動 (1) 小・2年生
議題「ハロウィンパーティーをしよう」

決まっていること
集会の場所や時間、決める遊びの数などの「条件」を明確にしておき、掲示しておく。

きまっていること
・10月13日(木)
・5時間目・教し
・かそくをする
・うたをうたう

集会の日時、場所など



時計 めやすの時間を示し、時間を意識して話し合う。

話し合いのめあて 合意形成のためのよりどころとなるめあてを設定する。

議題
本時だけでなく、事前から事後までの一連の流れを議題と捉える。

な時間仕がから
仕時間がかかる

思考の可視化・操作化・構造化
・意見は、操作しやすいように短冊に太く大きく書く。
・内容によっては、あらかじめ分かりやすいように分類して掲示しておく。

係分担の話し合い

- ・移動黒板などに短冊を貼っておき、学級会が終わったあとも見られるようにする。
- ・仕事の分担によって「時間がかかるもの」「時間がかからないもの」に分け、自分の仕事が終わったら手伝えるようにしておくという方法もある。

「話し合うこと」の設定 ※45分かけて話し合う価値のある内容に絞る。

○「話し合うこと」は2~3つ（議題によっては②と③の2つに絞って話し合う）
基本的には①「何をやるか」 ②「どのようにするか」 ③「係分担はどうするか」

○話し合いの進め方は「出し合う」「くらべ合う」「まとめる」（詳しくは裏面参照）
事前に考えを短冊などに書き、学級会コーナーなどに掲示しておき、本時は賛成・反対の「くらべ合う」から行う方法もある。

提案理由

内容(例)

- ① 現状の問題点（今、こうなってしまう）
- ② 考えられる解決の方法（こうすることで）
- ③ 解決後のイメージ（こうしたい、こうなりたい）

提示の工夫(例)
黒板掲示はキーワード化する。
○寸劇やペープサート（低）
○紙芝居（低・中）
○写真や動画（中・高）
○プレゼンテーション（高）